

令和7年度 大田区立入新井第四小学校 自己評価 報告書

令和8年3月6日

○ 本校の概要

- 学校規模(児童数361名、学級数12学級、教員数16名)
- 今年度の研究:教師の授業力向上 「児童を『自ら学びをデザインし自立した学習者』に導く教員の育成」～TeacherからGeneratorへの転換～
- 特色ある教育活動

・「未来志向の児童の育成」…学習用端末を活用したノートづくりや共同作業を学習に取り入れるとともにデジタルを活用した児童が主語となる学習の場づくりをはじめ自立した学習者を育てる教育環境の整備に努め、未来を担う児童を育成する。
 ・「本物志向の学校づくり」…児童が達成感や充実感を味わう価値ある体験活動を取り入れた教育活動を展開し、「できた」「分かった」「すごい」と感じる「心」が動く授業を実現する。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価	人数	コメント
生予個 き測別 力難標 をな1 育未 成し 社会 を創 造的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	4:	4	児童が「自ら学びたい」と思い、進めたい学習指導に展開してきた。導く時における動機付けを行い、自己調整学習への転換を図ってきた。そうした学習スタイルが楽しいと感じる児童が90%を越えている。今後も継続していく。	A	9	素晴らしいですね。学ぶことの楽しさを知ることは、一生の宝となります。新しい取組に率先して挑戦しており、タブレット端末の活用など不確実性の高い世の中・未来を生き抜いていく子どもたちにとって「生きた学び」になると信じています。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		90%					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3:					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		80%					
お世個 お別 た目 を標 担な2 うが 人 材 育 成 都 市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4:	3	3年生以上は校外学習を含めた総合的な学習の時間での学びでSDGsに興味をもち、理解を深めた。そのため90%の肯定的回答であった。低学年は地域との関わりが3学期になることもあり、60%程度であった。このテーマは、今後の地球規模での課題となることから継続して学びを深めていく。	A	9	地球人として大事な精神だと思います。これを理解し、未来につなげていく人間となってほしいと願っています。ゲストティーチャーでは、この地域(新井宿)や区内の人材を招いた特別授業を取り入れるなど地域を大切に作る姿勢に、子どもたちの地域愛・郷土愛が育まれていると感じます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		90%					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3:					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		80%					
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 る性 力と 能 育 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4:	4	各学級10人以上、20時間以上のゲストティーチャーによる特別授業の実施を目標に取り組んできた。数字的にはクリアできているので、児童は生き方に対する刺激を受けている。今後、それを充実させるためには、ただの「特別」にはせず、キャリア教育の中での位置付けを確かなものとしていく。	A	9	諸先輩の生の声を聞くことほど貴重な時間はありません。期待しています。特に各分野のプロフェッショナルの方の話は、その分野だけでなく、子どもたちにとって未来を生きるための道標となっていると思います。また、地域の文化や人の繋がりを大事にしている姿勢には、好感がもてます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		90%					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3:					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		80%					
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 る性 力と 能 育 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4:	4	各学級10人以上、20時間以上のゲストティーチャーによる特別授業の実施を目標に取り組んできた。数字的にはクリアできているので、児童は生き方に対する刺激を受けている。今後、それを充実させるためには、ただの「特別」にはせず、キャリア教育の中での位置付けを確かなものとしていく。	A	9	諸先輩の生の声を聞くことほど貴重な時間はありません。期待しています。特に各分野のプロフェッショナルの方の話は、その分野だけでなく、子どもたちにとって未来を生きるための道標となっていると思います。また、地域の文化や人の繋がりを大事にしている姿勢には、好感がもてます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		90%					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3:					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		80%					
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 る性 力と 能 育 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	4:	4	各学級10人以上、20時間以上のゲストティーチャーによる特別授業の実施を目標に取り組んできた。数字的にはクリアできているので、児童は生き方に対する刺激を受けている。今後、それを充実させるためには、ただの「特別」にはせず、キャリア教育の中での位置付けを確かなものとしていく。	A	9	諸先輩の生の声を聞くことほど貴重な時間はありません。期待しています。特に各分野のプロフェッショナルの方の話は、その分野だけでなく、子どもたちにとって未来を生きるための道標となっていると思います。また、地域の文化や人の繋がりを大事にしている姿勢には、好感がもてます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		90%					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3:					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		80%					
た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 とが な個 る性 力と 能 育 力 成 を し 発 揮 す る	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2	4:	4	各学級10人以上、20時間以上のゲストティーチャーによる特別授業の実施を目標に取り組んできた。数字的にはクリアできているので、児童は生き方に対する刺激を受けている。今後、それを充実させるためには、ただの「特別」にはせず、キャリア教育の中での位置付けを確かなものとしていく。	A	9	諸先輩の生の声を聞くことほど貴重な時間はありません。期待しています。特に各分野のプロフェッショナルの方の話は、その分野だけでなく、子どもたちにとって未来を生きるための道標となっていると思います。また、地域の文化や人の繋がりを大事にしている姿勢には、好感がもてます。
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		90%					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		3:					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		80%					

学個別 校別 力目 ・標 教 4 師力 を向 上さ せま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	児童を「自ら学びをデザインし自立した学習者」に導く教員の育成』～TeacherからGeneratorへの転換～をテーマに児童が主語となる授業づくりへの指導の転換を図り、新たな学習スタイルの確立へ向けた実践を取り組むとした教員の割合	4: 90%	旧来型の「教える・教わる」の授業ではなく「(児童が)学び、(教師が)支える」という新しいスタイルに転換している。教員の意識改革を図るために都の統括指導主事による講話や区の専門アドバイザーからの研修を年間5回実施した。方向転換を図れているので、今後の充実のために次年度は重点教科を絞り、全教員で学んでいく。	A 9	「教える」ことは難しいことだと思います。子どもたちの言葉、表情から「教えられる」ことも多いはずで、それを学んでいってほしいです。学校公開の様子を見ていると、子どもたちも生き生きと学んでいる様子が見られます。こうした取組をこれからも続けていってほしいと思います。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特徴を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		3: 80%			
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3		2: 70%			
						1: 60%			
た自個 め分別 の目 学し 標 びを い 支 き 援 い き ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしいいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	スクールカウンセラーにおける3年生以上の全員面談、様々な活動を充実させ、成功体験を通して、自尊感情を育てることにより「やれば、できる」という努力の価値を感じた児童の割合	4: 90%	昨年度からスクールカウンセラーによる全員面談を3年生以上にしたこと、児童のメンタル面のケアとともに相談しやすい環境をつくった。また体験活動を多く取り入れ、成功体験の中での自尊感情の醸成に努めた。クラブ活動および委員会活動の在り方を見直し、特別活動の充実を図り児童の自主的・自発的な自治を大切にしている。	A 9	とても大事なことです。年齢に限らず、ささやかな経験が人生を支え、豊かにすることがあるのです。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	3		3: 80%			
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		2: 70%			
						1: 60%			
安柔個 心軟別 なで 目 教創 標 育造 環 境 な 学 習 空 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	タブレット端末を使用した学習環境、校内掲示物の充実を図り、学校で楽しく学習できると回答した児童の割合	4: 90%	児童は低学年の時期からタブレット端末を使用する機会が増え、活用能力が上がった。今後は、タブレット端末を含めたICT機器の有効活用することによって、より情報活用能力を高めていく。	A 9	PTAや地域のイベント等にも足を運んでくださり、地域の一人として、地域とともにある学校の姿勢が感じられます。とても良いことです。21世紀という時代なので、仕方ないと思う一方でタブレットがなくても思考できる人間になってほしいです。とにかくホームページの更新が凄いです。すでに300回以上の更新があり、学校での子どもたちの様子がよく分かる。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3: 80%			
						2: 70%			
						1: 60%			
学地学 校校別 をコ・目 つミ家 標 庭7 リニ・ まテ地 すイ域 の核 連と 携し て協 働に よる	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	分かりやすい学校便り、ホームページの100回更新、「まなびポケット」を活用した電子書類配信を通したり、地域行事との連携を図ったりする中で、学校と地域・保護者との連携が深まったと回答した保護者の割合	4: 90%	今年度もホームページの更新は300回を越え、保護者からも高い評価を得ている。また電子書類配信も2年目となり、日常のものとなっていった。今年度よりコミュニティスクールとしてスタートしたので、「地域の中の学校」として地域との交流を増やしていく。	A 9	便利な世の中になったと思います。こうした中でも血の通った生の言葉が満ちていると良いですね。スクールサポートいりしやPTAの活動を通してボランティアは、のべ1000人以上になり、充実している。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3: 80%			
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		2: 70%			
						1: 60%			

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す